

## バリエーション練習

### 個人山行：ハチノス谷（六甲山）山行

2021年12月4日 土曜、参加者 男性4名 天候 晴れ時々曇り

9:10 阪急六甲駅

9:40 杣谷峠道（徳川道）の入り口

10:20 スリット状大堰堤

11:20 ハチノス チムニー滝

12:00 ハチノス大滝

13:30 天狗塚（長嶺山）山頂

ハチノス谷西尾根下山

15:00 六甲駅

杣谷峠道に入ってしばらく登り、木製の小さな看板のところでハチノス谷西尾根方向に分岐する。西尾根に出た場所で、踏み跡をたどってハチノス谷に急降下する。谷に入ってすぐにスリット状の大堰堤に遭遇。スリットの中をすり抜けて楽に通過。階段状の滝や苔のついた岩などを注意して登っていくうちに、沢は右に曲がり、落差15m程度のチムニー状の滝に当たる。このチムニー滝は登れそうだが、濡れるので巻き道を行く。さらに沢をつめていくと分岐点の先に垂直の壁があった。これがハチノス大滝で、ほぼ垂直に20m以上の落差があり、最上部はオーバーハングしていた。左岸の巻き道を行く。ロープもところどころにあるが、急なガレ場で危険であり、また切り立った岩場もあった。再び沢筋に戻ったが、この後は特に目立った滝もなく、そのまま沢筋をつめて山頂付近にでた。全体的に藪が少なく、とても遡行しやすい谷であり、滝は多くて変化があって面白かった。山頂の天狗塚からは良い眺望が得られたが、風が強く寒いので、早々にハチノス谷西尾根をくだった。



1. ハチノス谷  
西尾根への分岐



2. 杣谷峠道入り口にて



3. スリット状大堰堤



4. ロープを頼りに滝を捲く。足元のコケが滑りやすいので、要注意です。



5. チムニー滝、最上部がチムニーとなっており、写真ではあまり見えていない。登れそうだが水しぶきがかかるので、夏向きか。



6. ハチノス大滝は殆ど枯滝。最上部のオーバーハングは見上げる感じで迫力があります。



7. 天狗塚で記念撮影。好天のため、神戸湾がきれいに見えました。北風が強く、長居無用。